

平成 29 年度 事業計画（案）

1. 法人本部

1) 独自性のある授産作業の確立

（平成28年度からの継続）エコ工房四季との連携において行う。

2) 現在ある倉庫を第2避難所に設置し避難物資の確保：倉庫の移動・設置を秋頃迄に完了予定とし必要物資の貯蓄を予定。倉庫に入れる避難物資は防災マニュアル P15～P17から抜粋。

3) 社会福祉法人つばさ福祉会の各規程の見直し

4) ガバナンス体制の（理事、評議員、監事）強化

社会福祉法人改革に今問われているのは、個々の社会福祉事業ではなく社会福祉法人（経営）そのものであるという事です。又監事監査報告書の記載が従来と大きく異なりますので、予め監事との打ち合わせが必要となります。法人本部では各種規定の見直し等漏れのないようにしてガバナンス体制の強化を進めてまいりたいと思います。

2. エコ工房四季関係について

1) 経営面の安定への努力

2) 職員の資質の向上

3) 工賃安定と新しい作業への取り組み

4) エコ工房四季をより良く利用するための生活支援の強化

5) 年間行事等実施計画

エコ祭りの開催をするか否かは6月頃に最終判断をする予定であります。年間開所予定表の下部にマイナス日数を記載していますが開所できる余裕日数を示しています。平成29年度の行事取組は土曜日に入れております。

補足説明として振興局の清掃委託業務の内容を報告させていただきます。平成 29 年 4 月 3 日から振興局古座支所の清掃業務に入る予定で進めており業務内容は資料に記載のとおりエコ工房四季はトイレ清掃・窓拭き・玄関周りの清掃が主になります。職員 1 名・利用者 5 名～6 名の体制で考えています。単年度契約になり来年度はどうなるかはわかりませんので新授産事業の確立も早やくしなければと思っています。農作業においてはイモが出来るという事は実証できました。今年は獣対策をしっかりと行い‘なんたん密姫’（イモ）も農協に買い取ってもらえるまでに頑張っていければと思っています。又昨年不作だった梅も土壌改良をして良くなっています。収穫できれば加工して販売する事も含めて考えています。

3. 道しるべ関係 3月末で休業になりますが、2名（施設利用者外）の方がまだ移行出来ていませんでした。本日全員の方を移行する事ができました。4月 1 日より管理者兼相談支援専門員の 1 名は、エコ工房四季の施設長補佐兼生活支援員となり新規授産部門の立ち上げにも力を注ぎ携わっていただきます。